

## 安全性確認検査を続けています

よどがわ生協は、おおさかパルコープと共に、枚方市にあるおおさかパルコープ商品検査室にて「食の安全」について取り組んでいます。どのような取り組みが行われているのか、ご紹介いたします。

## 微生物検査

腐敗しやすい商品、食中毒の危険性が高い商品を中心に検査しています。検査によって危害を予測し、商品事故を予防します。また検査結果を活用し、品質の向上につなげています。



## 残留農薬検査

ハート栽培農産物(\*)を中心に農産物と加工品を対象に、よどがわ生協の自主基準や国の残留基準に適合しているかを検査しています。現在検査可能な農薬数は333項目で、2012年度は629件を検査しました。

\*農業および化学肥料の使用割合を当地比3割以上減らした農産物を独自に認証し、「ハート栽培農産物」として供給しています。



## 食品添加物検査

保存料と発色剤の使用が、法基準やよどがわ生協自主基準に適合しているかどうかを検査しています。保存料は、一般に保存料がよく使われている食品群を中心に検査しています。発色剤は、味付けなどにより素材の色が判別しにくい食品を重視して検査しています。

## 残留放射能検査

福島第一原発事故による放射能汚染により、生協としても独自の検査体制が必要と考え、2011年度6月から残留放射能物質の独自検査を開始しました。

検査対象品目は農産物を中心に下記の行政が対象とした産物を事前検査しています。

福島県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、青森県、岩手県、秋田県、山形県、新潟県、長野県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県



放射能物質による問題への取り組み  
事前検査の結果へ

くわしくは、よどがわ生協ホームページにて事前検査の結果報告をしていますので、ご覧ください。



## 卵質検査

鮮度が劣化しやすい夏季に重点をおいて、流通商品の検査を実施し、常に新鮮な卵をお届けできるように努めています。もし、劣化が認められた場合は、養鶏場・出荷場をはじめ、流通から配送にいたるまでの状況を調査し、必要に応じて改善を指示します。

## 外部委託検査

「表示されている内容が正しいかどうか」、「残留している科学物質の量を確認」など、適切に商品が製造されているかどうかを検査するために実施しています。

- 遺伝子組換え検査 (商品に「遺伝子組換えでない」と表示されている場合、適切に管理された原料を使用しているかどうかを確認するために検査を実施)
- 肉・米品種検査
- 動物用医薬品検査 (抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤など)
- カドミウム検査 (新米の時期に各産地より玄米を入手し検査を実施)
- アレルギー検査 (表示義務化されている乳、小麦、卵、そば、落花生、えび、かきの7品目) など

\*検査は、実際に配送されている商品から抜き取って行っています。新企画商品は商品案内掲載前に検査しています。

今後、機関紙よどがわでは、「商品検査報告」を掲載し、組合員のみなさんへ情報提供いたします。



## 3月度 商品検査報告

(2013年2月21日～2013年3月20日)

安全・安心の商品をお届けするため、商品検査室で検査を行っています。放射能検査の取り組みは、よどがわ生協のホームページにも掲載しています。

## ★商品検査の取り組み状況

商品検査数 1138件(前年 1044件)

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	848	2	再検査・継続検査を要するものが2品ありました。
残留農薬検査	44	なし	問題ありませんでした。
食品添加物検査	18	なし	問題ありませんでした。
残留放射能検査	80	なし	生鮮・一般食品を検査し、すべて検出はありませんでした。(検出限界値は20ベクレル/kg)
卵質検査	133	なし	問題ありませんでした。
外部委託検査	15	なし	問題ありませんでした。

商品回収・人体被害にかかわる不適合はありませんでした。

※おおさかパルコープ商品検査室にて実施



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん  
第5支所



茨木市南部担当 武藤 寛美(ひろみ) 皆さんによどがわ生協の商品を、もっと知ってもらいたいと思って配送しています。



エコアクション21  
認証・登録番号0008727

よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。